



北光だより

甲府市立北新小学校
令和5年10月25日
No. 6
校長 雨宮秀樹



陸上運動記録測定会

風も無い秋晴れの日。絶好のスポーツ日和となった10/18(水)、甲府市小学校陸上運動記録測定会が、緑が丘スポーツ公園競技場ふじでんスタジアムで行われました。新型コロナ感染症の発生以降、甲府市内の6年生、約1,500名が午前と午後の2部に分かれて開催しています。今年の北新小は、午後の部(13校25学級参加)への出場となりました。

これまで子どもたちは、それぞれ自分が出場する種目を決め、体育の時間等を中心に取組を重ねてきました。思うように記録が伸びなかった時もありましたが、同じ種目の友だちとも協力しながら練習を重ねていました。放課後の練習では、他の学年の先生たちにも関わって貰い、また、陸上経験者である前校長の泉晋一先生からもご指導を戴きました。

大会当日の目標は、2つです。一つは、記録測定会なので、これまでの練習の成果を発揮し自己ベストが出せるよう「記録への挑戦」です。もう一つは、北新小6年生としての「仲間のまとまり」です。実際、各種大会も開かれる競技場での記録計測です。他校の6年生も大勢おり、緊張感は練習の比ではありません。しかし、それぞれが持てる力を十分に発揮し、走り・跳び・投げることができました。観覧場所が、ちょうどゴール近くの中央席だったため、目の前を走る仲間に向かって力一杯の声援を送る様子も、北新小6年生の一体感を感じました。トラックやフィールドでの競技が終わり、観覧席へ戻ってくると、「すごいね!」「頑張ったね!」と、友だちから声を掛けられ拍手で迎えられます。その瞬間、ふっと息を吐き、まるで緊張が解けたかのようにいつもの笑顔が戻っていました。

甲府市内の同級生が、次に揃うのは、8年後の二十歳の集いとなります。北新小の仲間から、より広い世界の仲間との繋がりも楽しみです。



アスリート全国学校派遣プロジェクト「アスリーチ」

スポーツ庁「アスリート派遣等による体育授業等の充実・高度化の促進事業」

<https://www.dream-coaching.com/jsa/>



9/27(水)元空手ワールドカップ世界チャンピオン、日本スポーツ賞受賞者である鈴木雄一氏が本校を訪れ、6年生へ「武道」の体験授業をしてくださいました。これは、子どもたちが日本や世界を代表するトップアスリートとの交流を通して、運動の多様な楽しみ方を味わい、体力・運動能力の向上を図ると共に、望ましい運動習慣へつなげることを目的としています。

鈴木先生からは、少年時代からの「好きこそものの上手なれ」、続けることが大切であること、指導者からの助言や自分の閃きをノートに書き残し「考え工夫しながら取り組んできたこと」などが紹介されました。また、空手は自分自身を強くすることが目標であり、「自分に自信を持つことで、相手を敬い思いやることができること」など、「礼に始まり礼に終わる」という礼儀・礼節についてのお話がありました。

「立礼」「座礼」の後、関節などの十分なストレッチ・準備体操を行いました。空手の「受け」や「突き」の型も教えていただき、友だちと「足じゃんけん」をしながら稽古を行いました。6年生の中には、数名の空手経験者がおり、動きの速さや体幹の強さに驚かされました。たった2時間だけの体験授業でしたが、空手道による身体の強さ、精神・心の強さ、社会を生きていくために必要な「人に対する礼儀」などにも触れる機会となりました。



10/24(火)4年生による連合音楽会の校内発表が、全校児童に向けて行われました。演目は、リコーダー奏「にじ」と、合唱「この星に生まれて」です。3学年より始めたリコーダーは、息の吹き込み方やタンギング、穴の押さえ方など指遣いも上達し、きれいな音を出すことができました。2部合唱では、姿勢を良くし伸びやかな良い声で歌うこと。大きな声で歌うことよりも、友だちの声を聞きながら歌い、ハーモニーを感じることもできました。素晴らしい発表に拍手!!